

## <報道発表資料>

---

令和 3年 5月 28日

### 中川（幸手放水路）において、 宇和田さくら堰が完成します

中川流域の浸水被害の軽減対策として、中川と幸手放水路との分流部に埼玉県が平成30年度から整備を進めてきた宇和田さくら堰が完成します。

平成27年9月の関東・東北豪雨では、中川に合流する倉松川や新方川において、河川水位の高い状態が長く続き、多くの浸水被害が発生しました。

宇和田さくら堰の完成により、洪水の早い段階から幸手放水路への流量を増加させ、江戸川への強制排水が可能となります。従来よりも、効率的に中川下流域の河川水位を低下でき、それにより周辺から中川への排水も促進されることから、下流域のみならず流域全体の浸水被害軽減への貢献が期待できます。

#### ● 事業の概要

事業箇所：中川（幸手放水路） 幸手市上宇和田地内外

事業費：約12億円

事業内容：宇和田さくら堰の整備

事業期間：平成30年～令和3年

供用開始：令和3年6月1日

#### ● その他特記事項

洪水流をより効果的に放水路方向へ流下させるため、本川に設置した堰を洪水初期に起立（流量を絞る）させる珍しい運用を行う構造物です。

なお、宇和田さくら堰の名称については、地元の幸手市立東中学校の生徒に命名していただきました。